

4. Charsadda県洪水被災地への水資源管理によるかんがい用水水路整備(パキスタン)

- 実施団体: Shama Social Village Development Organization (#263)
- 実施地: パキスタン カイバル・パクトウンクワ(KPK)州 ペシャール管区 チャルサッタ県 ニサッタ地区
- プロジェクト予算: 3,145ドル(JWFファンド1,500ドル、団体377ドル、受益者1,268ドル)
- 受益者数: 839人(男性260人、女性324人、子ども255人)
- 実施地の水問題:

2022年にパキスタンを襲った大洪水は、灌漑システムに多大な損害を与えた。困窮した地元の小規模土地(0.2~1ha)所有農民たちは土留めのない泥壁の水路を破壊された。この不十分な用水路を改修して水資源管理を行えば、40%とされる壁面からの漏水が減り十分な水量を供給できる。



土留めのない用水路



素掘りで泥だらけの用水路



泥壁水路

- 主な活動内容: 1,200フィート(365m)コンクリート用水路の建設、かんがい用水システム教育プログラム実施、維持管理委員会の発足、修繕基金の設置。
- 特長(持続性): 洪水で被災した小土地所有農民たちは専門ごとに4委員会を形成して、かんがい用水路を整備して漏水を防ぐ。予算費用の4割を受益者が負担して、維持管理委員会設置と修繕基金を積み立てて持続性をはかる。
- 実施団体: 1991年設立、地元KPK州チャルサッタ県の農村部のコミュニティ参加によって、社会経済開発に取り組んでいる。JWFファンド2020の支援経験もある。